

庄内中部ガス株式会社

山形県東田川郡／ガバナ遠隔監視システム
(令和6年度実施、7年度事業進捗中)

レジリエンス補助金について、ガバナ遠隔監視システムの申請を担当された、保安工務課の石井課長にお話しをお聞きました。

補助事業の導入経緯について

日本ガス協会からの正会員通知やメーカー担当者様からの情報提供などで、「レジリエンス補助金」を知りました。

導入に至った経緯: 災害時の対応力の強化につながると考えました。通常時も現場に出動することなく、社内でガバナの圧力を即時に確認できるため、圧力変動の管理がしやすくなります。

補助金活用の経緯: 設備導入コストが削減できるため、申請しました。

申請期間: 4月頃から検討を始め、6月に交付申請を行いました。約2ヶ月程度でした。

請負業者への発注経緯: 補助金制度は、競争見積もりによるコスト削減を行うことが大原則となります。弊社は仕様を満たす請負業者3社に見積もりを依頼した結果、同社へ発注することとなりました。概算見積もりと比較し、約7%のコスト圧縮になりました。



石井課長: 大幅なコスト削減とレジリエンスの強化に繋がります。

ガバナ遠隔監視システムの機能について

1点目は、圧力異常があった時に警報メールが届き、状況が社内から確認できます。2点目は、乾電池式のため電源を必要としないので、災害時にもデータを取得できます。3点目は、リアルタイムで圧力の確認ができます。補助金が今後も継続されるなら、毎年導入を検討したいと思います(6箇所程度)。

交付申請書作成にあたっての懸念事項と解決法について

交付申請書の「中小企業者『みなし大企業を除く』の申請確認書」について、「みなし大企業に該当するのか、該当しないのか」の判断に苦労しました。

都市ガス振興センターの担当者様が、様々な質問に対して丁寧に対応していただいたことに加えて、メーカー担当者様が親身になって対応してくれたことで、不安を払拭することができました。

交付決定(採択)後の事業遂行にあたっての不安点と、その解消法について

申請時にしっかりと計画を立てていたため、事業についての懸念はありませんでした。しかし、中間報告や実績報告書の作成には不安がありました。申請時と同様に、不明な点は都市ガス振興センターの担当者様に随時確認を取りながら作成ができたため、その憂慮は解消されました。

災害時を想定した変化について

幸い、設備を導入してから災害は発生しておりません。現場に巡回しないと確認できなかった圧力のデータを社内で確認できることになったので、有事の際は状況判断が早くなり、対応への時間が短縮できていると思っています。

今後、補助金活用を検討されている方々へのアドバイス

令和6年度からは、レジリエンス補助金の応募開始から事業完了まで約10ヵ月間あったため、契約締結から請負業者への支払い完了までの工期を長期的に取ることができ、比較的余裕をもった事業を進捗することができました。

ガバナ遠隔監視システムの新規設置や機能拡充・拡大の予定のある事業者様は、大幅なコスト削減とレジリエンスの強化につながりますので、この補助金があるうちに応募されることをお勧めいたします。



上荒俣ガバナ子局正面



ガバナ室内



上荒俣ガバナ子局盤



上荒俣ガバナ自記圧力計

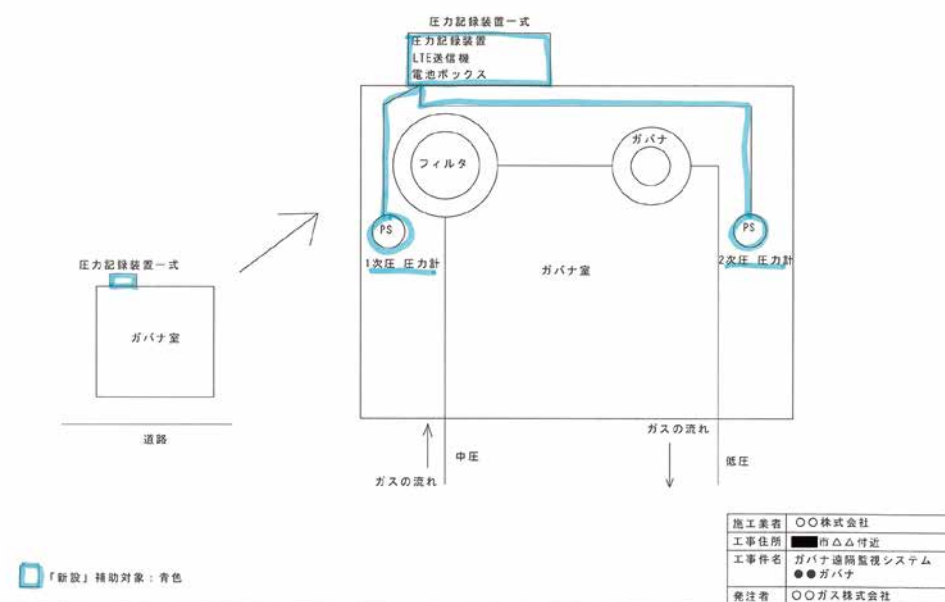


本社親局



令和6年11月に実施した現地検査での書類審査

補助事業方式の設備に関する全体図及び配置図



全体図および配置図

〈補助事業者概要〉

代表者: 遠藤靖彦 代表取締役社長
需要家数: 5,525個(2025年3月末) 従業員数: 9人

〈補助事業概要〉

ガバナ遠隔監視システム

導入予定時期: 令和6年11月18日、令和7年11月14日予定
導入内容の概要: (令和6年度)親局1か所、ガバナ6カ所子局装置の新規導入
(令和7年度)ガバナ6カ所子局装置の新規導入

設備の用途・機能・目的: ガバナ遠隔監視

導入予定設備: デジタル式自記圧力計、通信ユニット